

天神だより

発行：社会福祉法人 天神会
〒714-0044 岡山県笠岡市神島 3628-16
TEL.0865-67-4122 (代)
<http://www.tenjinkai.org/>

2020年1月20日発行

新春号
No.90





新年のご挨拶

理事長 岡崎 利治



新年明けましておめでとうございます。皆様には、穏やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年国外に於いては、米中間の貿易摩擦や東アジア地域での米朝関係等、不安定な状況でした。国内では台風などによる自然災害発生、また被害回復の遅れ等、世の中が不安定な状況で推移しました。

この様な環境の中、天神会でも働き方改革を進めてきました。働き方改革の中心は、生産性の向上です。生産性の向上は、個人のスキルアップやマインドの変革等も必要ですが、業務プロセスやICTを活用したシステムの変更による仕事の合理化、効率化が、必要となります。将来のスマートワーク及びAI化の導入の下地となるシステム作りを進めています。

また、日本企業の経営課題となりつつある健康経営にも取り組んでいます。天神会では、健康経営を「色々な機会をこらえて、職員(及び家族)の「健康」を追求すること」と位置づけて、単なる健康維持・増進だけでなく、職員の身体的・精神的・社会的に安心・安全に充実した生活を送れるように進めています。

さて、今年の干支は、ねずみです。干支の説明書によれば、「庚子(かのえ・ね)」と読み、「庚」は、草木が成長して、実を結んだ様子を表しており、「子」は、種子の種が地中で発芽した様子を表すそうです。このような状況から、「実績を積み重ねて実力を蓄えてきた組織が、新たな活動に向けて、始動する年である」と言われています。

いよいよ創立40周年目を迎える天神会は、今年から新しく計画される中期経営計画に基づき、これからの10年先の天神会を見据えて挑戦したいと思えます。

本年も、天神会職員一同、より安全で品質の高い介護サービスを提供し、地域社会に貢献していきたくと考えております。皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

そして、2020年が皆様にとりましても輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

特別養護老人ホーム天神荘

施設長 高田 美洋



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、入居者の皆様は、大

正、昭和、平成の時代を力強く歩んでこられ、令和の新时代をお過ごしになられます。今後、情報通信技術が目まぐるしく進化し、住まいや、暮らし方にも変化をもたらすことが予想されます。時代は移ろえども自分らしく生きたい、思いのままに暮らしたいという願いは不変であり、科学技術の進化や、介護の科学化がそれをかなえるための追い風となることが大きく期待されています。私たちは、時代に沿った多様な環境下に対応しながら、地域の奉仕者として道に迷ことなく、一人ひとりの想いに寄り添い、個別ケアの提供により、皆様に「暮らしの継続」をお届けできる施設でありたいと思えます。

また、ユニットケアの実践者として、その推進と普及のため学びを深めるとともに、蓄積されたノウハウを情報発信し業界発展に向け各種の技術開発にも寄与することで微力ながら社会に貢献してまいりたいと存じます。

本年も引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



サービス付高齢者向住宅Prince Court

施設長 渡邊 宏



新年明けましておめでとう
ございます。

2020年元旦の朝、今年
もPrince Courtより初日の
出を入居者様と拝みました。

何度見ても初日の出の美しさは得も言われぬ絶景で、今年一年が入居者様や職員にとって、素晴らしいものになると確信できるものでした。

Prince Courtは、神島地区の皆様方、特に地元古江の皆様方に支えていただき、一昨年8月のオープンより順調に運営しております。常に人々の暮らしの息吹や温かさを感じながら、風光明媚な美しい景色に囲まれた施設で、美味しい食事を召し上がっていただく。「ここで暮らしたい」と思っていたいただき、入居者様が元気で生活できるよう施設サービスを提供しております。今年も「暮らしの継続」を基本理念とし、元気な方から介護が必要な方まで、一人ひとりの個性や生活リズムを大切に、自立したその人らしい暮らしをサポートしていきたいと思えます。



天神介護老人保健施設

施設長 中山 弘人



新年あけましておめでとう
ございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。

当施設では、「今できること」「工夫すればできること」を利用者様、そしてご家族様と共に考え、多職種が協働して自立支援のお手伝いをしています。今後も可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが出来るように努めてまいります。また、地域交流会を開催し、相談窓口としての機能を強化していきたいと思っております。

利用者様には、季節を感じる行事を体験したり、移動スーパードショッピングを楽しんでもらうなど社会との交流を大切にしています。地域の方々のご協力を頂きながら、職員一同さらなる努力をまいります。本年も変わらぬお引立ての程よろしくお願い申し上げます。

こつのみ介護老人保健施設

施設長 則清 泰造



還暦を過ぎて、周囲の医師から「自分は何をしてきたのだろう?」と言うつぶやきを聞くようになりました。研究や臨床、教育などのキャリア

を積み重ねてこられた立派な先生からも同様です。それを傍目に小生は密かに、健康寿命残り十年計画を企て、実行中でした。

そんな時に大学の研究室の同僚でもあった某病院長から、天神会へのお誘いがあり、企てと両立できるからとの甘い言葉に乗って、デイケアの医師として採用して頂きました。

今回は青天の霹靂のごとく、こつのみ介護老人保健施設長のお話です。悩んだ末、残り十年計画の一つに、小生のこれまでの経験をお役立て頂くこと、を加え、お受け致しました。団塊の世代問題から、人口減少問題・生産性の向上を考えることが当たり前になりました。小生の令和二年の元旦の計も「持続可能な施設運営」と致しました。粗辞ではございますが、ご挨拶と致しまして、今後とも宜しくご指導ご鞭撻、お願い申し上げます。



障害者支援施設「うのしま荘」

施設長 寺次 功



新年あけましておめでとう
ございます。
皆様におかれましては、健
やかに新春をお迎えのこと
お慶び申し上げます。

さて、本年も私たちは、就労継続支援B型Appleや地域活動支援センター、生活介護、短期入所を利用されながら地域でお暮しになっている方や、施設へ入所しておられるご利用者様お一人おひとりが望む「将来の夢」や「働く」ことを大切に、豊かな「暮らし」を支えられるよう、お手伝いして参ります。
また、障害者支援施設に求められる機能として、地域生活支援の拠点としての役割・機能の発揮が期待されております。地域の皆様のニーズを把握し機能が発揮できるよう、関係事業所との連携を図り安心・安全な切れ目のないサービスの提供に努めてまいります。

今後皆様から信頼していただける施設を目指し、2020年も職員一丸となって努力して参りますので、更なるご支援を心からお願ひ申し上げます。

軽費老人ホームケアハウスこうのしま

施設長 岡部 美衣



新年明けましておめでとう
ございます。
平成元年に制度化されたケ
アハウスは、住宅面に重点を

置き、「安心して生活を営める住まい」として創設されました。介護保険制度によって「利用者の実情に即した多様な住まいの確保」が求められるようになり、近年では地域包括ケアシステム時代における役割として、精神的、社会的、経済的な面などで生活に課題を抱え、社会的にも孤立しがちな高齢者に対し、専門性の高いソーシャルワークに基づく支援が求められています。勉強会や各種業務を通して、職員知識、意識の向上を図り、利用者様や地域の皆様から、信頼していただける施設作りを目指していきたいと思っております。

この1年が皆様にとりまして、健康で心穏やかな年であります事を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

就労継続支援B型Apple

管理者 梅木 一成



新年あけましておめでとう
ございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃から温かいご支援ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

Appleは、地域の皆様、利用者の皆様、ご家族の皆様、関係者の皆様に支えていただき、無事三年目を迎えることができました。本年も職員、利用者ともに力を合わせ業務に励み、「みんなが集える場所」として気軽に「ご利用して頂けるよう、皆様をお迎えしたいと思ひます。また、障害のある方が、住み慣れた地域で孤立せず、「その人らしく」自立した生きがいのある生活を、地域住民と共に参加で

きるまちづくりに貢献していきます。

私たちはこれからも、Appleを訪れた方々の人生が「豊かに実るように」事業展開していきます。新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

事業所内保育園クレヨンキッズ

園長 熊谷 志津



あけましておめでとうござ
います。

去年4月に開園したクレヨンキッズも、たくさんの方々に支えていただき新年を迎えることができました。

子どもたちの成長に欠かせないのは愛情です。家庭の中ではもちろん、子どもたちをとりまくすべての環境の中で、たくさん愛情を受けながらすくすくと成長していける環境がここにはそろっていると思ひます。保育園の中だけでなく、天神会に携わってくださっている方々の愛情も注いでいただきながら、今年も家庭的な雰囲気大切に、たくさん愛情を注ぎながら保育をしていきたいと思ひます。保育園からも子供たちのパワーで天神会をより一層、盛り上げていきたいと思ひます。



「ノトクスモ・天神会未来協定」 ジヨグジャカルタノトクスモ健康科学大学 奨学金奨学生制度の創設



大学へ進学し、医療介護の勉学に励む大学生が安心して学業に専念できるよう支援するもので、大学卒業後は、外国人介護士として社会福祉法人天神会の施設への就労に意欲を燃やす大学生を支援します。

ノトクスモ健康科学大学卒業生が、看護・介護の学びと実践を通じて日本を理解し、友情を育み、将来にわたって両国の懸け橋になってくれることを期待しています。

天神会は、平成24年より経済連携協定（EPA）に基づき、インドネシア介護福祉士候補者を受け入れており、翌平成25年からノトクスモ看護短期大学（ノトクスモ健康科学大学の前身）卒業生の受け入れを開始しました。平成28年5月には、ノトクスモ看護短期大学（ノトクスモ健康科学大学の前身）と天神会において、教育とサービスの発展、老人看護・介護の知識や経験について情報交換や、卒業生の受け入れに関する協力関係を目的とした調印式を執り行い、今日まで相互の交流を深めてきました。



12月20日、令和元年度インドネシア職員の入社式を執り行いました。入社した14名の職員を代表して特別養護老人ホーム天神荘のメイタノールアドハさんが「私は、日本が大好きで、大学の時から日本で働くことが夢でした。皆さんと一緒に働くことができ、うれしい気持ちです。日本語はまだ未熟ですが、国家試験に合格するためにも日本語の勉強も続けていきます。一日でも早く、仕事に慣れるよう頑張りますので、あ

天神会入社式



ただかくご指導していただきますようお願いいたします。」と挨拶し、これから始まる生活や仕事に意欲を燃やしていました。続いて先輩であるイシデフィタ サリさんから（障害者支援施設こうのしま荘）歓迎の言葉として、「私も2年前入社し、緊張と不安で戸惑うことばかりでしたが、多くの先輩のおかげでここまで成長することができました。新入職員のみなさん、インドネシアを離れるとき思い描いた夢や計画があると思います。進むことで壁にぶつかり苦労することもありますが、あきらめることなく夢を実現させてください。一緒に進んでいきましょう。」と、新入職員へ温かいメッセージが送られました。

入社式後は来賓の皆さまも参加して、賑やかに懇親会を開催しました。



健康経営

山登りサークル

高森 美恵子



令和元年12月14日(土)、天老有志6名で宮島の弥山(みせん)に登ってきました。

朝7時に集合し出発! 当日の最低気温は1℃。しっかり防寒し、いざグライム! 弥山の登山コースは3種類あり、見所がたくさんありそのようなコースを選んだのですが、行けども行けども石階段ばかり。ハイキング気分ですで登れるだろうと思っていた私達は「ゼーゼーハーハー」防寒着も1枚脱ぎ2枚脱ぎ:無理せずゆっくり登って行きました。1時間45分かき山頂に到着。瀬戸



内の多島美は絶景! 険しい道に登った甲斐があります。登頂成功のご褒美は老舗店の穴子弁当。香ばしい穴子は最高においしかったです! 今回は石段コースを選びましたが、他の2ルートもサークルの皆さんで制覇して行きたいなあと思っっています。笑いの絶えない楽しい宮島登山でした。

4月には、天神会サークルとして認定して頂く予定です。山登りに興味のある方、一緒に楽しい運動をしませんか?

ユニットケアフォーラム2019

事例発表

特別養護老人ホーム天神荘 高田 美洋



去る11月7日大阪国際会議場で行われた、ユニットケアフォーラム2019 第4分科会介護システム合理化と多様な働き方、法人として地域で愛される取り組みから見えた効果や多様な人材活用、食事提供の仕方の工夫でできた個別ケアの取り組みにおいて、多様な人材育成と雇用「外国人スタッフとの協働」のテーマで事例発表をしました。

ユニットケア施設運営にあたっては、4つのポイント、(1)体制づくり

(2)住まい造り (3)暮らしづくり (4) チームケアづくりを総合的に進めることが重要であります。

天神荘でのユニットケア導入の過程においての体制づくりの一環として、優秀な人材確保の視点から始めたEPA介護福祉士候補者の受入について、その経緯、留意点、受入の効果、今後の課題等について、実践事例を交え事例報告を行いました。

成人の日お祝い

1月9日、一足早く成人の日のお祝いをしました。今年の天神会新成人は6名。

岡崎理事長は「今まで以上に社会の中での役割が必要です。自分の役割は何かを考え、仕事もプライベートルも充実させて欲しい」と激励のメッセージを送られました。



インターライアセスメント導入

利用者様の思いを実現するために

障害者支援施設こうのしま荘 サービス管理責任者 坂本 聡子

介護福祉分野における「アセスメント」とは、利用者様のニーズ（解決すべき生活課題）や可能性を把握するために、さまざまな情報を収集・分析することです。今までこのしま荘でのアセスメントは、質的評価が中心で担当職員の経験、個人の能力により、情報収集の内容に差がありました。また、情報収集までのフォーマットはあるものの、課題分析のガイドラインが明確でなかったため、計画を立案する際にサービス管理責任者の力量に左右されてきました。理想のケアを提供していくためには、誰が行っても同じようにアセスメントできるスキルと仕組みが必要です。そこで、東洋大学の高野先生に研修をして頂き、根拠に基づいたアセスメント手法を確立するため、インターライ方式の導入を検討していく事となりました。このしま荘版のアセスメント様式は、インターライ方式のアセスメントの



今後でも運用して行く中で修正をしていき、根拠あるアセスメント様式を確立することでその人らしい暮らしの支援が出来るよう、委員会メンバーを中心に引き続き、取り組んでいきたいと思っております。

高齢者版に障害特性や社会生活技能、意志決定支援、地域移行等々、項目や事柄を追加しました。また、カーンファレンスにて多職種で検討すべき項目が選出されるルールを作りました。様々な障害特性に対応した標準的なアセスメントツールを作るのほども大変でしたが、高野先生、そして職員の協力のもと「障がい者へのアセスメントツール」を完成させることができ、インターライ日本主催の研究大会で報告させていただきました。



ボランティア活動報告

● 障害者支援施設こうのしま荘

・運動会ボランティア

川越 つみぎ様、廣澤 楓様
小見山 峰子様、廣澤 櫻様
クリスマス・忘年会ボランティア
川越 つみぎ様、小林 優杏様
廣澤 楓様、小見山 峰子様
金子 将輝様、西田 温香様
渡辺 駿様

・絵手紙作成ボランティア

島原 正登様、島原 泰子様

・清掃ボランティア

佐藤 裕子様、山本 真紀子様
平原 すみ子様

・慰問

YMTKS

堀口 勝夫様、松田 隆様
森田 ゆかり様、渡辺 弘子様
安西 友則様、梶谷 和正様
來間 憲治様、笹田 恒男様
白髪 綾乃様、白髪 紀子様
杉本 時子様、鶴島 昌子様
中村 敬子様、西川 幸司様

愛の善意銀行

三好 孝一様、前田 哲夫様
上杉 佐代子様、遠藤 謙二様
桑田 幸子様、白髪 多美枝様
照屋 勲様、中田 康生様
東山 和子様、鶴島 昌子様

● 特別養護老人ホーム天神荘

・茶房てんじん手伝い

宮澤 光乃様

国際ソロプチミスト笠岡

佐藤 智子様、津田 美津子様
高橋 久美子様、大西 美保様
生花クラブ手伝い

有岡 邦子様、山本 睦巳様
後谷 清子様

・2時の会手伝い 後谷 清子様
・茶房てんじんナイト営業手伝い

笠岡認知症介護ボランティアの会

岡 清美様、山河 フミ子様
星野 恵子様

● 天神介護老人保健施設

・傾聴ボランティア

笠岡市認知症介護ボランティアの会
生花クラブボランティア
長安 栄子様
天老まつりボランティア
西本薬品(株)
五洋医療器(株)
㈱ライフケア様

小見山 和子様、後谷 清子様
有岡 邦子様、山本 睦美様
山本 芽依様

・サービス付高齢者向け住宅
PrinceCourt

・傾聴ボランティア：3名
・フラダンス ……5名

● こうのしま介護老人保健施設

・行事ボランティア(餅つき)
岡本 美代子様
・大正琴(慰問)
伊藤 美枝子様、中尾 淳子様
・清掃ボランティア
枝木 マサ子様、濱田 逸子様

● 軽費老人ホームケアハウスこうのしま

・傾聴ボランティア
あじさいの会様：3名
・カラオケクラブ ドレミの会：7名
・秋の一日旅行
小見山 宏子様、小見山 和子様
齊藤 征子様、有岡 裕子様
小林 凡子様

● ご寄付をいただきました

・井原 信行様
・社会福祉法人 山陽新聞社会事業団様
・鶴田 清次様
・山本 邦男様

皆様の善意に感謝申し上げますとともに、施設のために大切に使用させていただきます。



おめでとう

〔令和元年10月〜12月〕

表彰

● 介護グランプリ

総合部門：敢闘賞 天神介護老人保健施設

小平 敏博さん

小川 梢さん

三木 智恵さん

三木 智恵さん

橋本 有加さん

● 笠岡市優良介護従業者表彰

山岡 千晴さん

✧ ご結婚

● ここのしま介護老人保健施設

藤井 智史さん

奥様 昭江さん

〔入籍〕令和元年11月5日

アイシャープ トウリ ヌリアワテさん

旦那様 コイルディン トヒルさん

〔入籍〕令和元年12月21日



● 障害者支援施設ここのしま荘

藤井 佳菜江(旧姓 清水)さん

旦那様 惟之さん

〔入籍〕令和元年11月3日

✧ ご出産

● ここのしま介護老人保健施設

リアンノヴィータさん

お子様 ムハマド アルファティ アキラ

〔お誕生日〕令和元年12月13日

ハナフィちゃん



クイズに答えて 素敵な賞品をゲットしよう!

Q1

2020年の干支は何でしょうか?
①戌
②亥
③子

Q2

おせち料理等で縁起物として食べられる数の子は何の卵でしょうか?
①さけ
②にしん
③わかさぎ

Q3

今年2020年は東京オリンピックが開催される年となっていますが、前回の東京オリンピックは何年前に開催されたでしょうか?
①56年前
②5年前
③156年前

※応募締め切り：2月末日

各施設に応募用紙と応募箱を設置します。正解者の中より抽選で素敵な賞品をご用意しています。当選者は次回発行の誌面にて発表させていただきます。ふるってご応募ください!

秋号クイズの答え ②、②、③
当選者発表

- 小見山 峰子様 三宅 義男様
- 藤井 洋光様 井上 千代子様
- 崎谷 保様 高橋 栄次様
- 藤本 於利様 三村 君恵様
- 岡本 勝之様 沼田 誠一様
- 藤岡 悦子様 高橋 陽子様
- 掛谷 裕様

News

「第5回おかやま介護グランプリ2019」



12月8日(日)、岡山コンベンションセンターで開催された「第5回おかやま介護グランプリ2019」に、天神介護老人保健施設チーム「ここのしま介護老人保健施設」が出場し、それぞれ見事な成績を収めることができました。排せ介護部門では、ここのしま介護老人保健施設の橋本有加さんが優秀賞、入浴介助部門では、天神介護老人保健施設の三木智恵さんが優秀賞を受賞し、総合部門では天神介護老人保健施設が敢闘賞に選ばれました。